

令和6年4月12日

人 口 推 計

2023年(令和5年)10月1日現在

— ポイント —

【全国人口】

**総人口は59万5千人の減少、13年連続の減少
日本人人口は減少幅が12年連続で拡大**

- 総人口は1億2435万2千人で、前年に比べ59万5千人（-0.48%）の減少となり、13年連続で減少しています。
- 日本人人口は1億2119万3千人で、前年に比べ83万7千人（-0.69%）の減少となり、12年連続で減少幅が拡大しています。（結果の概要 1～2ページ）

17年連続の自然減少、減少幅は拡大

- 自然増減は83万7千人の減少で、17年連続の自然減少となり、減少幅は拡大しています。
- 男女別にみると、男性は42万3千人の減少、女性は41万4千人の減少となり、男性は19年連続、女性は15年連続の自然減少となっています。（結果の概要 2～3ページ）

日本人は3年ぶりの社会増加、外国人は2年連続の社会増加

- 社会増減は24万2千人の増加で、2年連続の増加となっています。
- 日本人・外国人の別にみると、日本人は2千人の増加で、3年ぶりの社会増加となっています。外国人は24万人の増加で、2年連続の社会増加となっています。（結果の概要 2～3ページ）

表1 男女別総人口の推移（2005年～2023年）

（単位 千人）

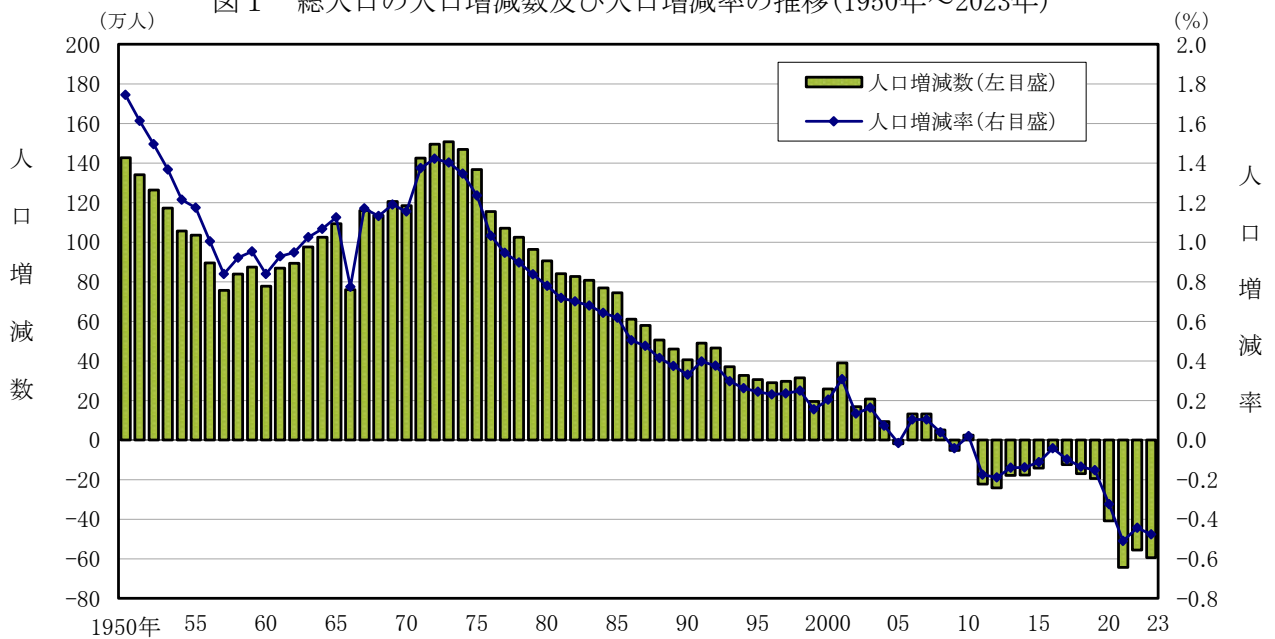
年次	総人口								男				女						
	10月1日 現在人口	純増減 ¹⁾		自然 増減	社会 増減		日本人	外国人	10月1日 現在人口	純増減 ¹⁾		自然 増減	社会 増減		10月1日 現在人口	純増減 ¹⁾		自然 増減	社会 増減
		増減数	増減率 ²⁾		増減数	増減率 ²⁾				増減数	増減率 ²⁾		増減数	増減率 ²⁾					
2005年	127,768 ³⁾	-19	-0.01	9	-53	-103	50	62,349 ³⁾	-31	-0.05	-25	-28	65,419 ³⁾	12	0.02	34	-25		
2006	127,901	133	0.10	1	1	-60	61	62,387	38	0.06	-26	7	65,514	95	0.14	27	-6		
2007	128,033	132	0.10	-2	4	-75	79	62,424	37	0.06	-25	6	65,608	95	0.14	23	-2		
2008	128,084	51	0.04	-35	-45	-110	65	62,422	-2	-0.00	-41	-18	65,662	53	0.08	6	-27		
2009	128,032	-52	-0.04	-59	-124	-77	-47	62,358	-64	-0.10	-55	-67	65,674	12	0.02	-5	-57		
2010	128,057 ³⁾	26	0.02	-105	0	4	-4	62,328 ³⁾	-30	-0.05	-74	-13	65,730 ³⁾	56	0.09	-31	13		
2011	127,834	-223	-0.17	-183	-79	-28	-51	62,207	-120	-0.19	-108	-37	65,627	-103	-0.16	-75	-42		
2012	127,593	-242	-0.19	-201	-79	-23	-56	62,080	-128	-0.21	-116	-37	65,513	-114	-0.17	-85	-42		
2013	127,414	-179	-0.14	-232	14	-23	37	61,985	-95	-0.15	-129	9	65,429	-84	-0.13	-103	5		
2014	127,237	-177	-0.14	-252	36	-23	60	61,901	-84	-0.14	-136	27	65,336	-93	-0.14	-115	9		
2015	127,095 ³⁾	-142	-0.11	-275	94	-1	95	61,842 ³⁾	-59	-0.10	-147	63	65,253 ³⁾	-83	-0.13	-128	31		
2016	127,042	-53	-0.04	-296	134	-2	136	61,816	-26	-0.04	-156	79	65,226	-27	-0.04	-140	54		
2017	126,919	-123	-0.10	-377	151	4	147	61,753	-63	-0.10	-197	87	65,165	-61	-0.09	-180	64		
2018	126,749	-170	-0.13	-425	161	-3	165	61,673	-81	-0.13	-220	97	65,076	-89	-0.14	-205	65		
2019	126,555	-193	-0.15	-485	209	1	208	61,588	-85	-0.14	-249	127	64,967	-109	-0.17	-237	82		
2020	126,146 ³⁾	-409	-0.32	-501	42	21	21	61,350 ³⁾	-238	-0.39	-259	2	64,797 ³⁾	-171	-0.26	-242	40		
2021	125,502	-644	-0.51	-609	-35	-7	-28	61,019	-331	-0.54	-314	-16	64,483	-313	-0.48	-294	-19		
2022	124,947	-556	-0.44	-731	175	-16	191	60,758	-261	-0.43	-371	110	64,189	-294	-0.46	-359	65		
2023	124,352	-595	-0.48	-837	242	2	240	60,492	-265	-0.44	-423	158	63,859	-330	-0.51	-414	84		

注1) 前年10月から当年9月までの増減数。2020年までの増減数には補間補正数（国勢調査人口を基に算出した人口推計と、その次の国勢調査人口との差を各年に配分して算出したもの）を含む。このため、純増減は自然増減と社会増減の計とは一致しない。

2) 前年10月から当年9月までの増減数を前年人口（期間初めの人口＝期首人口）で除したもの

3) 国勢調査人口

図1 総人口の人口増減数及び人口増減率の推移(1950年～2023年)



注) 人口増減率は、前年10月から当年9月までの人口増減数を前年人口(期首人口)で除したのもの

15歳未満人口は前年に比べ32万9千人の減少

総人口に占める割合は11.4%で過去最低

65歳以上人口は前年に比べ9千人の減少となった一方、割合は29.1%と過去最高

- 15歳未満人口は1417万3千人で、前年に比べ32万9千人の減少となり、割合は0.2ポイント低下の11.4%で過去最低となっています。
- 15～64歳人口は7395万2千人で、前年に比べ25万6千人の減少となり、割合は59.5%で過去最低であった前年に比べ0.1ポイントの上昇となっています。
- 65歳以上人口は3622万7千人で、前年に比べ9千人の減少となった一方、割合は0.1ポイント上昇の29.1%で過去最高となっています。
- 75歳以上人口は2007万8千人で、前年に比べ71万3千人の増加となり、初めて2000万人を超え、割合は0.6ポイント上昇の16.1%で過去最高となっています。

(結果の概要 4～5ページ)

図2 我が国の人口ピラミッド (2023年10月1日現在)

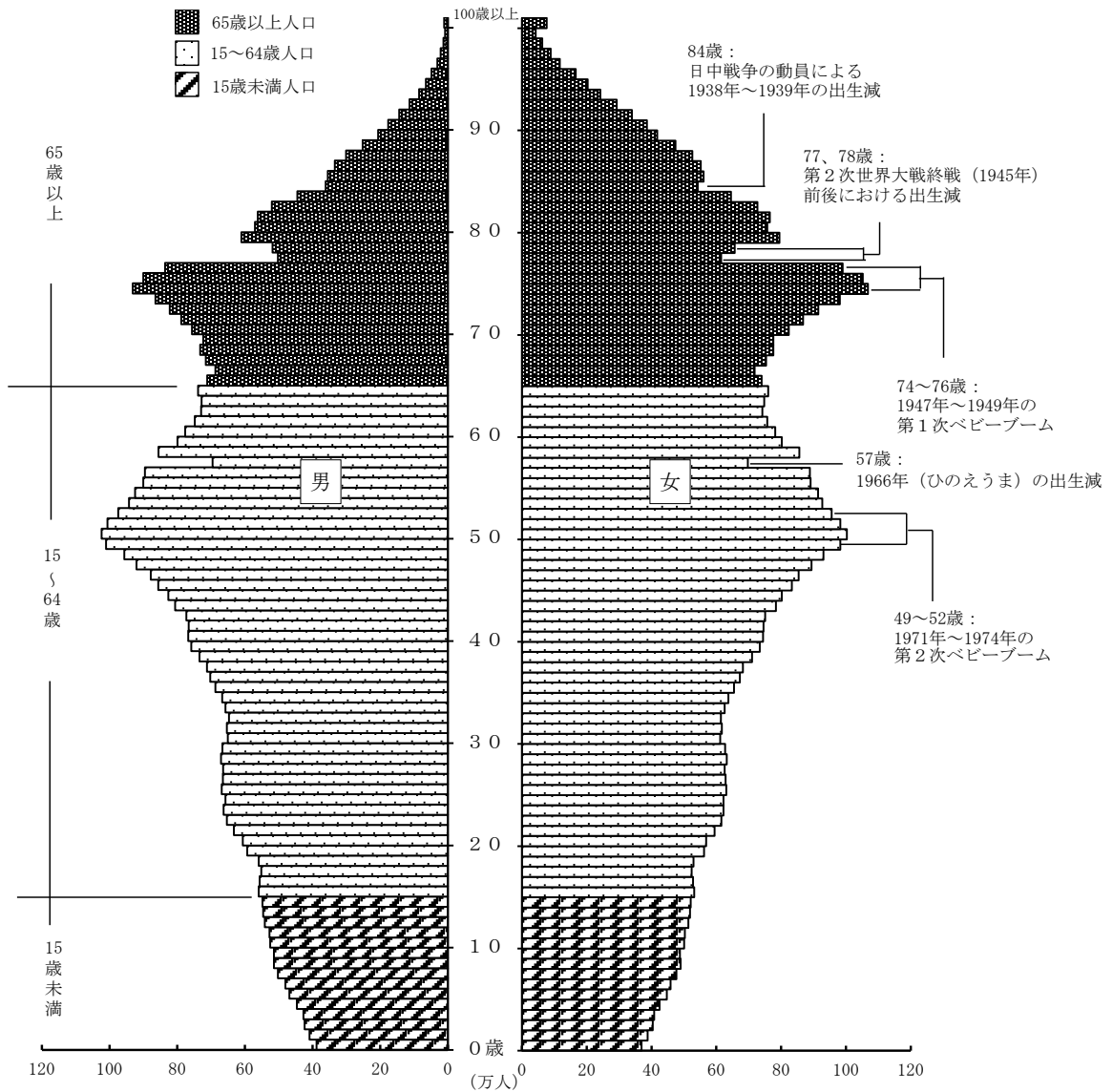
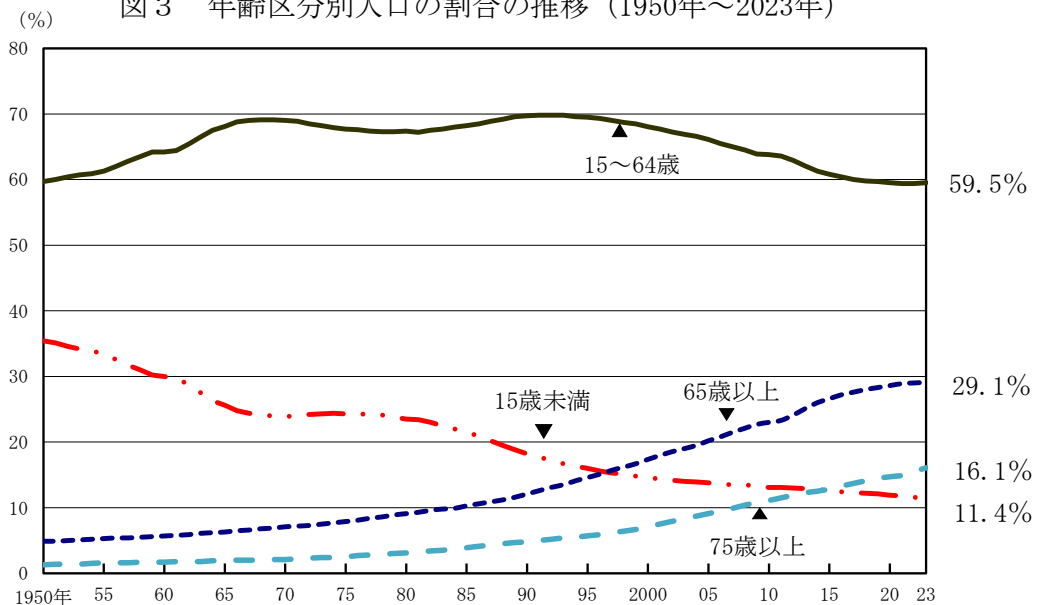


図3 年齢区分別人口の割合の推移 (1950年～2023年)



【都道府県別人口】

人口増加は東京都のみ、増加率は拡大

- 人口増加は東京都のみとなっています。
- 東京都の人口増加率は0.34%で、前年に比べ0.14ポイントの拡大、2年連続の増加となっています。
- 人口減少は46道府県となっています。
- 人口減少率が前年に比べ拡大したのは38道府県で、うち山梨県（対前年差0.32ポイント）が最も拡大しています。
- 人口減少率が縮小したのは群馬県（対前年差0.09ポイント）など6府県となっています。

図4 都道府県別人口増減率

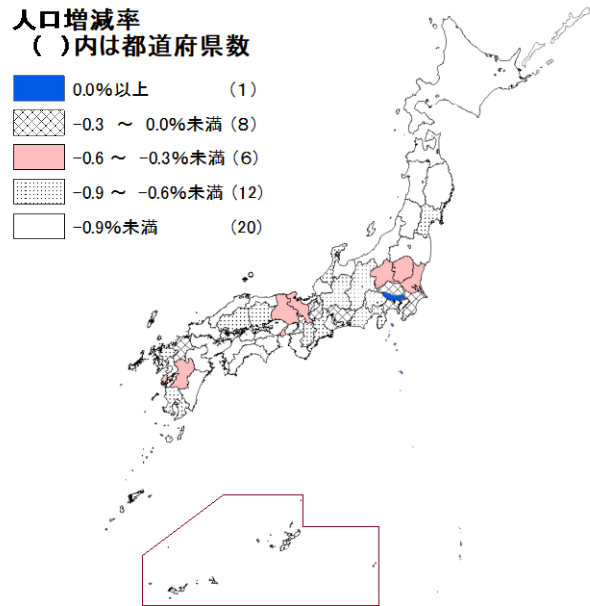


表2 都道府県別人口増減率

(単位 %)

人口増減率順位	都道府県	人口増減率		人口増減率順位	都道府県	人口増減率		人口増減率順位	都道府県	人口増減率	
		2023年	2022年			2023年	2022年			2023年	2022年
—	全 国	-0.48	-0.44	16	宮 城 県	-0.68	-0.44	31	宮 崎 県	-0.96	-0.84
1	東 京 都	0.34	0.20	17	佐 賀 県	-0.74	-0.64	33	福 井 県	-1.12	-1.00
2	沖 縄 県	-0.02	-0.01	18	山 梨 県	-0.75	-0.43	34	鳥 取 県	-1.14	-0.91
3	神 奈 川 県	-0.04	-0.04	18	岐 阜 県	-0.75	-0.77	35	愛 媛 県	-1.16	-1.09
4	埼 玉 県	-0.08	-0.05	18	静 岡 県	-0.75	-0.70	36	山 口 県	-1.21	-1.06
5	千 葉 県	-0.15	-0.15	21	石 川 県	-0.78	-0.67	37	新 潟 県	-1.22	-1.12
6	滋 賀 県	-0.16	-0.11	21	広 島 県	-0.78	-0.72	38	長 崎 県	-1.25	-1.06
7	大 阪 府	-0.22	-0.27	23	奈 良 県	-0.79	-0.72	39	和 歌 山 県	-1.27	-1.13
8	愛 知 県	-0.25	-0.29	24	長 野 県	-0.80	-0.65	39	島 根 県	-1.27	-1.05
9	福 岡 県	-0.26	-0.15	25	岡 山 県	-0.84	-0.74	39	徳 島 県	-1.27	-1.14
10	茨 城 県	-0.53	-0.43	26	三 重 県	-0.88	-0.77	42	福 島 県	-1.31	-1.20
11	熊 本 県	-0.55	-0.57	27	鹿 児 島 県	-0.89	-0.87	43	高 知 県	-1.37	-1.22
12	京 都 府	-0.57	-0.45	28	香 川 県	-0.91	-0.87	44	山 形 県	-1.42	-1.31
13	栃 木 県	-0.60	-0.65	29	北 海 道	-0.93	-0.82	45	岩 手 県	-1.47	-1.32
13	群 馬 県	-0.60	-0.69	30	大 分 県	-0.95	-0.68	46	青 森 県	-1.66	-1.39
13	兵 庫 県	-0.60	-0.55	31	富 山 県	-0.96	-0.87	47	秋 田 県	-1.75	-1.59

注) 人口増減率 (%) = $\frac{\text{人口増減 (前年10月～当年9月)}}{\text{前年10月1日現在人口}} \times 100$
 人口増減 = 自然増減 + 社会増減

- 全ての都道府県で自然減少となっています。
- 社会増加は東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県など22都道府県となっています。増加した22都道府県のうち、岐阜県及び静岡県は減少から増加に転じています。

(結果の概要 8～11ページ)

図5 都道府県別人口の増減要因（自然増減率及び社会増減率）

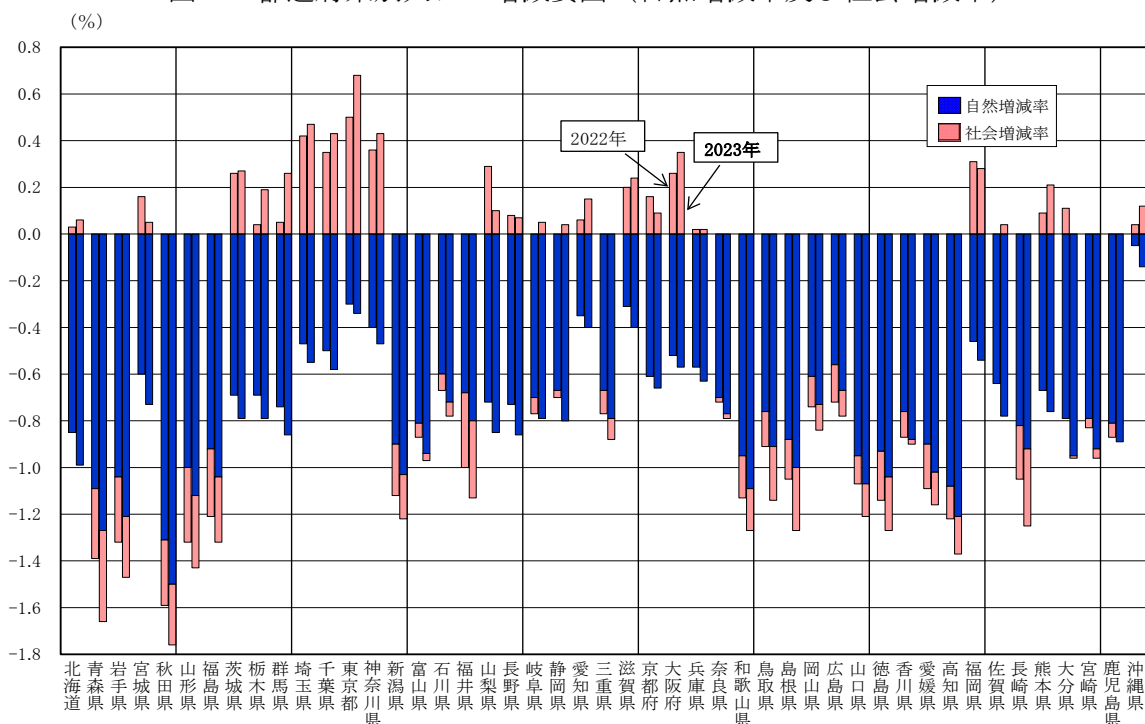


表3 人口増減要因別都道府県

増減要因		都道府県名 2023年	都道府県名 2022年	都道府県数 2023年	都道府県数 2022年
人口増加	自然増加・社会増加			0	0
	自然増加・社会減少			0	0
	自然減少・社会増加	東京都	東京都	1	1
人口減少	自然増加・社会減少			0	0
	自然減少・社会増加	北海道 宮城県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 神奈川県 山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 福岡県 佐賀県 熊本県 沖縄県	北海道 宮城県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 神奈川県 山梨県 長野県 愛知県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 沖縄県	21	20
	自然減少・社会減少	青森県 岩手県 秋田県 山形県 福島県 新潟県 富山県 石川県 福井県 三重県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島県	青森県 岩手県 秋田県 山形県 福島県 新潟県 富山県 石川県 福井県 岐阜県 静岡県 三重県 奈良県 和歌山県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 長崎県 宮崎県 鹿児島県	25	26

15歳未満人口の割合が75歳以上人口の割合を上回るのは沖縄県のみ

- 15歳未満人口の割合が最も高いのは、沖縄県（16.1%）となっています。
- 15～64歳人口の割合が最も高いのは、東京都（66.5%）となっています。
- 65歳以上人口及び75歳以上人口の割合が最も高いのは、いずれも秋田県（39.0%、21.2%）となっています。
- 15歳未満人口の割合が75歳以上人口の割合を上回っているのは沖縄県のみとなっています。
(結果の概要 12～13ページ)

表4 都道府県、年齢3区分別人口の割合（各年10月1日現在）

(単位 %)

都道府県	2023年				2022年			
	15歳未満	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
全 国	11.4	59.5	29.1	16.1	11.6	59.4	29.0	15.5
北海道	10.1	56.9	33.0	18.0	10.3	56.9	32.8	17.3
青森県	10.0	54.8	35.2	18.7	10.2	55.0	34.8	18.0
岩手県	10.3	54.7	35.0	19.0	10.6	54.9	34.6	18.4
宮城県	11.1	59.7	29.2	15.2	11.3	59.8	28.9	14.6
秋田県	9.1	51.9	39.0	21.2	9.3	52.1	38.6	20.6
山形県	10.7	54.2	35.2	18.9	10.9	54.3	34.8	18.4
福島県	10.8	56.0	33.2	17.2	11.0	56.3	32.7	16.5
茨城県	11.1	58.3	30.6	16.3	11.3	58.3	30.4	15.6
栃木県	11.1	58.7	30.2	15.6	11.4	58.7	29.9	14.9
群馬県	11.0	58.0	30.9	16.9	11.3	57.9	30.8	16.3
埼玉県	11.3	61.2	27.4	15.2	11.5	61.1	27.4	14.5
千葉県	11.2	60.7	28.1	15.7	11.4	60.6	28.0	15.0
東京都	10.7	66.5	22.8	12.9	10.9	66.3	22.8	12.5
神奈川県	11.2	62.9	25.9	14.7	11.4	62.8	25.8	14.1
新潟県	10.7	55.4	33.8	18.4	10.9	55.5	33.5	17.7
富山県	10.8	56.2	33.1	19.0	10.9	56.1	33.0	18.2
石川県	11.6	57.9	30.5	17.1	11.8	57.9	30.3	16.2
福井県	12.0	56.5	31.5	17.3	12.2	56.6	31.2	16.5
山梨県	10.9	57.3	31.7	17.4	11.1	57.4	31.5	16.7
長野県	11.4	55.9	32.7	18.7	11.6	55.9	32.5	18.0
岐阜県	11.6	57.2	31.2	17.4	11.9	57.1	31.0	16.6
静岡県	11.4	57.6	31.0	17.1	11.7	57.6	30.7	16.4
愛知県	12.4	61.9	25.7	14.4	12.6	61.7	25.6	13.8
三重県	11.5	57.9	30.6	17.1	11.7	57.9	30.5	16.4
滋賀県	13.0	60.0	27.0	14.6	13.2	60.0	26.8	13.9
京都府	10.8	59.4	29.7	17.2	11.1	59.3	29.6	16.3
大阪府	11.2	61.1	27.7	16.1	11.4	60.9	27.7	15.4
兵庫県	11.7	58.3	30.0	16.9	11.9	58.3	29.8	16.1
奈良県	11.2	56.2	32.6	18.5	11.4	56.3	32.4	17.5
和歌山県	11.1	54.7	34.2	19.3	11.2	54.8	34.0	18.5
鳥取県	12.0	54.7	33.3	18.1	12.2	54.8	33.1	17.4
島根県	11.8	53.2	35.0	19.7	12.0	53.3	34.7	19.0
岡山県	11.9	57.1	31.0	17.7	12.1	57.1	30.8	17.0
広島県	12.1	57.8	30.1	17.0	12.3	57.7	29.9	16.3
山口県	11.0	53.7	35.3	20.0	11.2	53.6	35.2	19.3
徳島県	10.6	54.1	35.3	19.3	10.7	54.3	35.0	18.3
香川県	11.6	55.9	32.6	18.2	11.8	55.8	32.4	17.4
愛媛県	11.1	54.8	34.2	18.9	11.3	54.8	33.9	18.1
高知県	10.5	53.2	36.3	20.7	10.6	53.3	36.1	19.9
福岡県	12.6	58.9	28.5	15.2	12.8	58.9	28.3	14.6
佐賀県	12.9	55.4	31.7	16.6	13.2	55.4	31.4	16.1
長崎県	12.1	53.6	34.3	18.2	12.3	53.8	33.9	17.5
熊本県	12.8	54.9	32.3	17.4	13.0	54.9	32.1	16.9
大分県	11.6	54.2	34.2	18.8	11.8	54.2	33.9	18.1
宮崎県	12.7	53.6	33.7	18.0	12.9	53.7	33.4	17.3
鹿児島県	12.7	53.5	33.8	17.8	12.9	53.6	33.5	17.2
沖縄県	16.1	60.1	23.8	11.3	16.3	60.2	23.5	10.9